



元気！塩沢っこ

二本松市立塩沢小学校
令和6年2月20日
第11号
発行責任者 菅野芳弘



☆教育目標 子どもたちの思いや願いを生かしながら、「自分やふるさとに誇りをもち、努力できる子ども」を育成する。

- 進んで学習する子〈知〉
- 明るく思いやりのある子〈徳〉
- 最後までやりぬく子〈意〉
- 健康でたくましい子〈体〉

【重点目標】 塩沢っこ自己マネジメント力の育成



第3回学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）

2月13日（火）第3回学校運営協議会が開催されました。授業参観では、委員の皆様にご各学級の様子をじっくりと見ていただきました。協議では、今年度の学校評価結果と次年度の学校経営・運営ビジョン案について報告をさせていただきました。委員の皆様から、これからの学校と家庭・地域の協働の在り方等について、貴重なご意見をいただきました。お忙しい中、委員の皆様、ありがとうございました。



〔R5学校評価から〕

<主体的に学び、学んだことを活用できる子ども>

教職員の評価としては、（1①個に応じた指導）は昨年よりややよい評価になった。しかし、（1②学習の振り返り）はあまりできなかったという評価もあった。（3②本を読む）では、進んで読む読書が少ない、図書室の本をあまり読まないなどの反省があった。

児童の評価では、（1.学習の振り返り）と（3.宿題・自主学習）が、昨年度より評価が上がっている。しかし、（4.本を読む）はA評価が減り、D評価が増えている。

保護者の評価では、（3.宿題・自主学習）は、昨年度よりA評価が増えている。しかし、（1.学習の振り返り）と（2.考えの発表）、（4.本を読む）のA評価は減っている。特に、（4.本を読む）はD評価が増え、昨年より評価が下がっている。

<ふるさとの「人、もの、こと」に豊かにかかわる子ども>

教職員の評価では、（1②保護者との共通理解）では、地域の方との活動が少しずつ行われるようになってよかった。（1①道徳の実践力）では、道徳で学習した価値を生活で実践できていないなどの反省があった。

児童の評価では、（6.めあてや目標）のA評価が増えている、（8.地域の学習）のA評価が減り、C評価が増えている。

保護者の評価では、（5.あいさつ）、（6.めあてや目標）、（7.思いやりの心）、（8.地域の学習）すべてで、A評価が減っている。

<自分を見つめ、体力向上に努める子ども>

教職員の評価では、（2①集団での高め合い）では、学級内での話し合いでの評価が昨年より大きくよい評価になった。（3②運動の確保）では、朝マラソンが定着し、よい評価になった。しかし、（3②運動の確保）で、投力・瞬発力を高める遊びの機会を工夫していきたい。

児童の評価では、（9.放射線）のA評価が大きく増え、興味関心が高まった。（10.体育での話し合い）と（11.ゲームの約束）のA評価が減り、（12.進んで運動）はC評価が増えた。

保護者の評価では、（9.放射線）と（11.健康な体づくり）の肯定評価が大きく増え、学校の取組が評価されている。（12.体力向上）には、A評価が減り、まだ成果は感じられていないようだ。